

大館市地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

実施概要

1. 計画の名称

「大館市地域公共交通網形成計画（案）」

2. 意見募集の期間

平成 30 年 2 月 19 日（月）から平成 30 年 3 月 11 日（日）まで

3. 公開の方法

○市ホームページで

ホームページアドレス <http://www.city.odate.akita.jp>

○閲覧窓口で

- ・大館市役所市民部市民課市民係（本 庁 舎 1 階）
- ・建設部都市計画課都市整備係（比内総合支所 1 階）
- ・田代総合支所市民生活係（田代総合支所 1 階）

4. 意見書受領の方法

- ・郵 送 〒018-5792 大館市比内町扇田字新大堤下 93-6 大館市役所都市計画課
- ・ファクシミリ 0186-55-1018
- ・電子メール tskseibi@city.odate.lg.jp
- ・直接持参 閲覧場所へ直接持参

5. 意見を提出できる方

- ・市内に住所を有するかた
- ・市内の事務所または事業所に勤務するかた
- ・市内の学校に在学するかた
- ・市に対して納税義務を有するかた

6. 掲載書類

- ・大館市地域公共交通網形成計画（案）
- ・大館市地域公共交通網形成計画（案）概要版

意見募集の結果

1. 意見の件数

- ・意見を寄せた人数 31 人
- ・意見の数 54 件（要旨の数）

2. 提出方法

- ・持 参 3 人
 - ・郵 送 0 人
 - ・ファクシミリ 1 人
 - ・電子メール 27 人
- 計 31 人

いただいたご意見と大館市の考え方

1. 施策に関するご意見

No.	(原案) 該当 個所	意見の概要	市の考え
1	P81 施策 1-1 公共交通路線再編の 実施 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>系統番号を導入</u>してほしい。観光客や普段利用しない人にもわかりやすいと思う。 ・ 始発が遅く、最終が早い。<u>運行時間帯を延長</u>してほしい。 ・ 安全で時刻表に<u>正確な運行</u>を望む。 ・ バスの<u>運行頻度をもう少しあげる</u>ことが必要だと感じる。 ・ 車を持っていない方や免許を返納した方などは、普段出かける際に大変苦勞するかと思うので、難しいかと思いますが<u>運行頻度などを多少増やす</u>ことが必要だと思う。 ・ はやめに免許証を返納してもらうには<u>バスをもっと使いやすく</u>することしかない。 ・ バス路線そのものを見直しバス利用をもっと身近にするために<u>バス停の数を増やす</u>など根本的なことからの見直しが必要。 ・ バス路線の距離に対して、バス停の数が少ない。バスの運行は <u>BRT のような形式で運行</u>するのが良い。 ・ <u>バス停が増える</u>ことでより<u>活性化</u>する。 ・ 駅・病院・市役所を拠点とし、拠点付近のバス路線の<u>ルートを単純化</u>させることで今まで<u>アクセスできなかった集落の近場に路線</u>を設ける。 ・ もっとわかりやすく<u>複雑すぎない路線に減らす</u>。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>BRT Bus Rapid Transit(バス ラピッド トランジット) バスを基盤とした大量輸送システム。日本では高速輸送バスを指すこともあります。</p> </div>	<p>ご意見のとおり、公共交通の利便性向上の取り組みを行うことが必要であると考えております。</p> <p>需要に応じた適正な運行を実現するため、地域座談会の開催や地域公共交通活性化協議会の開催を通して、利用者との協議を密にしながら「運行の効率化」や「利用実態に応じた路線再編」に取り組んでいきます。</p> <p>計画では、路線バスについては、隣接市町をつなぐ基幹軸の運行水準を確保しながらも、その他の移動については、利用者の移動実態に応じ路線バス以外の移動手段の導入についても検討を行うこととしています。</p> <p>いずれにしても、今後例えば高齢になり運転免許を返納した後も、日常生活が不便なく、また公共交通を身近に感じてもらうため、まちづくりや福祉政策とも連携しながら、持続可能な公共交通網の構築を図っていくこととします。その際はいただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>

No.	(原案) 該当 箇所	意見の概要	市の考え
2	P82 施策 1-2 多様な運行形態による交通手段の確保 (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金は公平・平等を基本に、<u>多種多様な組み合わせ</u>を考えて頂きたい。 ・ バスまではいかなくても、<u>乗合いタクシーなどを望む</u>。 ・ <u>カーシェアリング、デマンドバス、乗り合いタクシー等の普及</u>をして欲しい。 ・ 私達町内ではまだタクシー割引券を活用した人はなく将来はどうなるかわからない。<u>割引券料金が合わない人もいます</u>。 ・ JRについてはやはり本数が少なく、<u>利用のしにくさ</u>が感じられた。特に朝は1本乗り遅れただけで、学生や通勤している人は1時間以上の遅れがあるため使いにくいのではないか。 	<p>多世代の方に公共交通を利用して頂ける様、「誰もが安心して外出できる環境の整備」や「今ある地域公共交通の有効活用や小需要に対応した交通の導入」が必要と考えております。</p> <p>このため、地域の需要に見合った多様な運行形態による交通手段や新しい移動手段のあり方について検討するとともに、地域助け合い型の移動サービスの導入、地域主体での交通サービス導入に向けた検討会の立ち上げなど、公共交通を市全体で支える体制の確保を目指したいと考えております。</p> <p>また、新たな交通手段で運行を開始する際には、利用者負担と交通事業者の採算に配慮したバランスの取れた料金設定となるよう協議したいと考えております。</p>
3	P83 施策 2-1 交通結節点における乗り継ぎ環境の向上 (5 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつ SC の 3 箇所に分かれているバス乗り場を集約し、<u>バスターミナルの様な機能</u>を持たせてほしい。 ・ <u>大館駅をバリアフリー化</u>して欲しい。 ・ 冬に<u>バスの停留所が雪に埋もれてとても危険</u>なので定期的に雪かきを行ったら良い。 ・ <u>腰を下ろせる待合室</u>があれば、外来の人や、地域の人との交流の場が増え、バス周りの環境や人の輪が広がると思う。 ・ 街にとっての<u>駅の存在意義を見直す</u>べき。鉄道で大館を訪れる方のため、目的地までの移動のためバス等の公共交通の充実が必要。 	<p>主要な駅や市立総合病院といった、多くの路線バスが乗り入れるバス停などの交通結節点におけるハードやソフト面の機能を向上させるため、「乗継ぎ環境の向上」や「交通事業者との連携強化」、「待合環境の改善」、「除排雪体制の強化」を進めることとしています。</p> <p>バス乗り場の集約や大館駅のバリアフリー化については、御成町南地区土地区画整理事業や大館駅前地区都市再生整備計画</p>

			<p>事業等と連携し、関係機関との協議を考えております。</p> <p>また、バス停周辺の雪かきや待合室について、市や交通事業者はもちろん、地域の皆様の協力が必要不可欠です。すでに、ボランティア活動でバス停の雪かきを実施している学校や、個人でも自宅付近のバス停除雪を行っていただいています。今後もこのような地域活動が継続するよう、バス停にベンチを設置する自治会へ支援を行うなど、交通事業者や周辺自治会等と連携した待合環境の改善を考えております。</p>
4	<p>P84 施策 2-2 小さな拠点など 地域拠点の形成 (1件)</p>	<p>・<u>免許がなくても社会参加ができるシステム</u>作りを検討して欲しい。過疎地にあっては、<u>今ある社会資源を有効に活用</u>することが最も有効と思います。</p>	<p>暮らし続けられる地域づくりのため「地域拠点の整備」や「生活圏の形成」、「新しい移動手段の検討」を進めることとしております。</p> <p>また、ご意見のとおり公共交通の利用が不便な地域の解消や、高齢者の運転免許返納が進むような環境形成が必要であると考えております。</p> <p>そのためには、お住まいの地域に関係なく、運転免許の返納後も買い物や病院などに出かけやすい環境づくりが必要です。その際は、タクシー券の配布やスクールバス・病院バスの活用といった地域公共交通の有効活用のほか、自動運転システムの導入など新たな移動手段の在り方についても検討を行ってまいります。</p>

No.	(原案) 該当 個所	意見の概要	市の考え
5	P85 施策 2-3 情報提供ツールの 作成、HP 等での 情報発信 (11 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの路線が乗り入れる施設（大館駅・市立病院・イオン・いとく SC）などに<u>バスの発車時刻や接近表示をするモニターがあれば便利</u>。バスは遅れることが多い。<u>スマホなどで位置情報を表示</u>できるようにしてほしい。 ・市民のバス路線の維持に対する意識や関心を高めるために、<u>バス停やホームページに路線ごとの営業係数を表示</u>してみてもどうか。 ・<u>乗り方やバス停の時刻表の見方が分からない</u>などの理由で高校生のバスの利用者が減少しているのではないか。 ・バスの運行時間が合わず、大館の若者は<u>バスを使えていない</u>。または使い方が分からないという状況だと感じ、このままでは若者離れが更に加速するのではないかと危機感を抱いている。 ・<u>行きたいときにその場所に行けるというイメージを持たせる</u>ことで、遊びに行きたいときにバスを利用しようと思う人も増える。 ・高齢者はバスの時刻や通る場所などを覚えるのが大変であるため<u>時刻表付きのロードマップを作って配布</u>してみるのもよい。 ・お年寄りあまりネットを使わないと思うので、<u>新聞などの紙媒体での情報発信</u>が良いと思う。 ・<u>情報発信やチラシをもっと有効活用</u>する ・ハチ公バスなどのバスが多く、路線が複雑で乗る人から見てもかなり分かりづらいため<u>バスのカラーを統一</u>した方がよいと思う。 ・バス内に定期券が購入できることなどの<u>お得な交通情報を提示し、認知度を上げた方がよい</u>と思う。 ・<u>路線別運行マップ</u>が必要。 	<p>公共交通の利用促進につなげるため、従来の情報提供ツールとしているバスマップや広報記事の内容充実に加え、高齢者から観光客まで、あらゆる利用者を考慮した「よりわかりやすく、より使いやすくなる情報提供」に取り組んでいきます。</p> <p>この「よりわかりやすく、より使いやすくなる情報提供」については、普段公共交通を利用する機会の少ない市民のかたからのご意見も多くあります。路線バスを一例にすると、乗り方や、運行時間、料金や運行ルートが分かりづらいついてしまうと、利用の機会を逃していることも考えられます。</p> <p>一方で、バス事業者ではインターネットの乗換案内サービスを導入したり、バス車内でも時刻表を配布したりするなど、情報提供に取り組んでいることから、まずは既にある情報を周知し活用できる仕組みづくりを目標に、交通事業者等と連携して取り組んでいきます。</p>

No.	(原案) 該当 箇所	意見の概要	市の考え
6	P86 施策 3-1 多様な連携による 公共交通の利用促進 (10 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市の 100 円パツ区のように<u>都心部均一料金を導入</u>してみてはどうか。日中や土休日のみの適用に限ったとしても、一定の需要は見込めるし、気軽に市民がバスを利用できると思う。 ・ <u>観光路線バスを運行</u>してみてはどうか（市内の観光地を巡回し、車内放送で観光案内をするなど）。 ・ やむを得ず運転している高齢者もいるため、<u>日常生活（買物・通院など）を維持していくための移動手段を確保</u>して欲しい。 ・ 市内回遊バスの運行や乗車率アップ、<u>乗せる仕組み作り</u>を検討して欲しい。 ・ 割引制度の導入やタクシーの乗合・買い物ツアーバスの制度、通院バスの活用など、<u>運転免許返納者に対する支援制度</u>を検討してほしい。 ・ 高齢者が多くいることを考え路線バスの定期券などを<u>老人向けにシルバー割引</u>などとしてもっと活用してもらおうとよい。 ・ 大館の<u>名所旧跡を巡る交通機関</u>があるといい。 ・ <u>大館ならではの比内地鶏、秋田犬などを取り入れたツアー的なもの</u>を作ればいい。 ・ <u>大館市独自に免許を返納した人に対する、独自のサポート</u>を行う。 ・ <u>バス会社と個人商店、スーパーなどの店舗が手を組んでみたらどうか</u>（店舗側はバス会社に商品を配達させ、バスはその商品を町内の会館などにおいて町内で販売させる）。 	<p>公共交通の利用促進活動を充実させていくために「事業や施設と連携した利用促進」や「運転免許返納の促進に対する取組み」を施策目標としております。いただいたご意見は、取り組みを進める際の参考とさせていただきます。</p> <p>多様な連携による公共交通の利用促進については、昨秋、秋田自動車道釈迦内パーキングエリアの観光利用促進を目指し、観光資源である「鳥潟会館」「ニプロハチ公ドーム」「秋田犬会館」などを周遊する「パーク・アンド・ライド」方式による観光地巡りとして、ツアー型バスの運行社会実験を実施しています。効果の検証は今後実施していく上でも公共交通の利活用は不可欠と考えておりますので、事業者との連携を強化し、協働による利用促進に取り組んでいきます。</p> <p>また、運転免許返納者に対する割引制度は、タクシー料金割引や得とく定期券の利用補助など既に実施している事業について今後も周知拡大に努めていくほか、新たな支援制度や移動手段の導入などについても検討していきます。</p>

No.	(原案) 該当 個所	意見の概要	市の考え
7	P87 施策 3-2 公共交通を市全体で 支える体制の構築 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の人口分析等を行い、<u>買い物難民・通院難民を解消</u>してほしい。 ・ 買い物に行くとき、距離が遠いことや、障害をもっている高齢者のために<u>宅配のサービス</u>などをすればいい。 ・ <u>バスを利用する人にアンケートをとりそれを踏まえて増やす路線と減らす路線を決めて実行すること</u>で困っている高齢者の数を減らすことができるのではないか。 	<p>公共交通不便地域の解消へ向けて、「座談会の開催」や「地域やNPOなどが主体となった移動サービスの導入」をはじめ、今後は行政、地域、交通事業者など、市全体で公共交通を支える仕組みが必要だと考えています。いただいたご意見は、取り組みを進める際に参考とさせていただきます。</p>

2. その他計画案に関するご意見

No.	(原案) 該当 個所	意見の概要	市の考え
1	実施スケジュールについて (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを回すため、施策の展開について、スケジュールを示した方がよい。 	<p>ご意見のとおり、計画書へ「実施スケジュール」を追加しました。</p>
2	計画策定について (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・回遊バスによるコンパクトシティの実現を検討して欲しい。 ・各地域の住み分けや今後の地域の進み方をしっかり考えてほしい。 ・徒歩移動・自転車利用の促進、街全体のバリアフリー化促進、歩道・自転車道の除雪、交通の必要性が無い都市計画、徒歩移動・自転車利用の促進、高齢者、高齢者予備軍にネット教育等をしてほしい。 ・住宅密集地は非常に入り組んでおり道が分かりにくいえ坂が多く、<u>外出時には負担に感じる</u>。 ・今後高齢者が更に増える事を見据えると<u>市街地付近に住んでもらうのが早い</u>と思います。 	<p>今後の人口減少により、既存のサービス施設の撤退とともに、高齢化の進行と相まって買い物弱者や交通弱者がますます増加することが予想されています。本計画は、そうした予測を踏まえ都市計画の面から将来にわたって市民の生活利便性を確保するため都市計画マスタープラン、及び立地適正化計画と連携し策定を進めております。頂いたご意見を参考としてまいります。</p>
3	その他 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員も公共交通を使った通勤を促進すべき。 ・奥羽線の秋田大館間の鉄道線路の上下振動左右横揺れを改善してほしい。 	<p>ご意見のとおり、公共交通の利用促進のために、まずは乗ってみる仕組み作りが必要と考えます。</p> <p>今後、施策の実行や事業者との連携の際に、頂いたご意見を参考として取り組んでまいります。</p>